

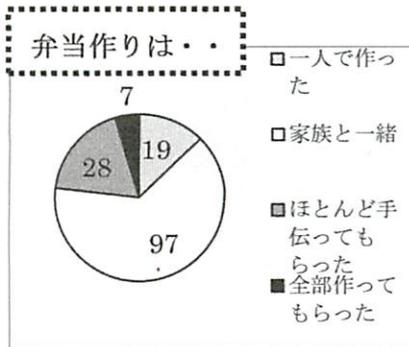


弁当

だより

平成22年11月
郡山市立守山中学校

「手作り弁当の日」には、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果をお知らせします。ほとんどのお子さんが、弁当作りに参加した様子がありました。また、当日は弁当を忘れて届けてもらうお子さんはほとんどいませんでした。



【お子さんの様子や感想・ご意見など】

- 自分で作ることの楽しさを学ぶよいきっかけになりました。カロリーを考えたり、食育についても話をしたりと親子間でのよいコミュニケーションになりました。
- いつもより20分早く起きてやっていました。親子のふれあいに1年に1回くらいはよいのではないのでしょうか。
- 見た目より量にこだわる男の弁当でなかなかよかったです。スローペースでした。
- 一緒に作業することで会話が増えて、食育の大切さを親子で実感しました。
- 男の子だからやらないだろうと思っていましたが、チャレンジする姿が見られほほえましかったです。男の子だからやらないと決めつけていた自分を反省しました。
- いつもより1時間前に起きる予定をたてたため、9時頃早々と寝てしまい、テスト前1週間なのにちょっと困ったものだと思ってしまいました。(裏面に続きます)

お子さんが、おうちの方と一緒に弁当作りに参加し、早起きして作る大変さや、朝の時間のやりくりをして調理や弁当箱につめる経験ができたこと、とても貴重な体験になったようです。親子の朝の会話が増えたことや台所でのほのぼのとした様子が伝わってきました。お子さんたちは、学校で弁当の時間を楽しみにしていたようです。お子さん自身、できなかったことができるようになるということは、大きな自信につながっていくはずです。おうちの方もお子さんに頼ってもらえて、うれしかったのではないのでしょうか。

担当者の感想です！！



【お子さんの様子や感想・ご意見など】

- 前日の米とぎから、から揚げの下味つけなど進んでやっていました。油がこわいと言っていました、手際よくやっていました。このような機会があると、子ども一人でも作れるようになると思うので、良いと思いました。
- おにぎりを上手に作っていました。息子と台所にはいるのもいいものですね。
- 卵焼きを作った時に、少しこげてしまってその後、もう1回作りました。上手にできてうれしそうでした。兄の分も作りました。
- お弁当箱にご飯をつめすぎたので、ごはんがつぶれないようにつめたほうがおいしく食べられることを伝えると、なるほどという顔をしていました。前日の夜、おかずを何にするかなど、コミュニケーションをとる機会になりました。
- もともと料理が好きなので、楽しんで作っていました。前日にお米をといで、当日の朝は、いつもより30分前に起きて、母のお弁当まで用意してくれました。
- 朝練で早く家を出る、親も早く出るなど朝は忙しくて作る余裕がなかったので、前夜に下ごしらえだけでも一緒にすれば良かったと思いました。
- 献立を考えたり、一緒におかずを作ったりとやる気いっぱいでした。野菜を入れないといけなし、主菜は6分の1になどと考えて、食について学習しました。
- 仕事から帰ると「おかあさんの大変さがわかった」と言われた時は「どうだ、わかったか」と思った反面、なんかうれしく、たまにこんなお弁当作りもあっていいのかなと思いました。
- 前日からメニューを考え、お弁当箱につめたイラストを書いていました。当日の朝も、早起きして朝から会話が盛り上がり作ることができました。娘はお弁当を作ってあげた時は必ず、「お弁当ありがとう、おいしかったよ」と言ってくれます。親としては、うれしいことです。
- 高校生になったら「自分でお弁当を作って行く」と言ってくれたので、今回のことがよい足がかりになりました。
- 家庭科で学んだこと、これまでの弁当の内容などを参考にしながら、初めての料理に苦戦、満足を経験したようでした。日常得られない話題での会話と、お互いのために時間を費やすことができ貴重な体験でした。お互いを理解しあえたと感じます。
- 小学校の時も「手作り弁当の日」がありましたが、いつも仕事が早番の時で、子どもに作らせられなかったのですが、今回は一人で全部作らせられたのでうれしく思います。
- 最近、めんどうくさがることが多いので、親に任せるのかと思っていましたが、自分でやろうとしていたので、とても良い機会でした。
- 自分で食べるものを自分で作る、作れるようになることは生きる上でも大切です、自立へもつながるので、とても意味のあることだと思いました。
- 自分でおかずをつめて「うまそう！」帰宅後、第一声「弁当超うまかった！」兄にも「今日の弁当どうだった？」とちょっぴり誇らしげに聞いていました。子どもと一緒に作ることで、忙しい朝が楽しい時間になりました。
- 自分のできることだけでも、手伝おうとする気持ちは助かりました。おかげで、いつもは手抜き弁当の夫と息子もおいしい弁当にありつけて喜んでいました。

※ たくさんのご意見やご感想、ありがとうございました。